

インターネットガバナンス

IP Meeting 2004  
前村 昌紀  
maem@maem.org



2004年はインガバの年

2

## インガバ・昨今の動き

- WSIS, WGIG
  - ITU, 発展途上諸国がインガバに関心を
  - Mr. Zhao (ITU TSB議長)レター
  - 総務省インガバ連絡会, IGTF
- ICANNの改革
  - NROの発足と新たなASO-MoUの締結



3

## WSISとは。。

- The World Summit on the Information Society – 世界情報社会サミット
  - <http://www.itu.int/wsis/>
- ICT利用によって変革する社会生活全般をテーマとする
  - デジタルディバイドなども扱う



4

## WSISで立ち上った インガバ議論

- 中国や途上国数カ国が、インガバのITU, 政府主導を主張
  - 会津泉さんの記事  
<http://it.nikkei.co.jp/it/column/njh.cfm?i=20040119s2001s2>
  - ICANNで扱う資源管理+ネームサーバだけでなく、SPAMやセキュリティなども俎上に
- 日本を含む先進国グループは現在のICANN主導体制を支持
- 議論が収束せず、次回2005年のチュニス会議までに、国連事務総長の主導の下検討を行うことが決議された



WGIG – Working Group on Internet Governance  
<http://www.wgig.org/>

5

## なぜインガバが今。。

- 一昔前(1996--)の、「ドメイン名(gTLD)のルール作り」で盛り上がったインガバとは一味違う
  - SPAMやセキュリティ問題も含む(実際に大問題)
  - 既にICANNでカバーできる範囲を超える
- 本格的に政府・行政が関心を持つ事項になった
  - 市民が広く利用し、社会生活を営む道具となった
  - 社会資本として相応の管理がなされるべきだ
- ゆえに必要な摺り合わせ
  - インターネットのルールを既存社会に適合させる
  - 既存社会のルールをインターネットに対応させる



6

## 日本における動き(1)

- 総務省
  - ITU, WSISにおける対応の必要性
  - ICANN GACにおける対応の必要性
    - 民間主導モデルを支持する立場

「インターネットガバナンスに関する連絡会」設置

[http://www.soumu.go.jp/s-news/2004/040217\\_2.html](http://www.soumu.go.jp/s-news/2004/040217_2.html)



7

## 日本における動き(2)

- 民間・業界団体
  - インターネットガバナンス問題自体に対する関心の高まり
- WSIS, WGI Gにおける対応の必要性
  - 不適切な動き, 結論に至らないように声を上げていかなければならない

日経デジタルコアで「インターネットガバナンス研究会」開催

[http://www.nikkei.co.jp/digitalcore/report/theme\\_governance.html](http://www.nikkei.co.jp/digitalcore/report/theme_governance.html)

IGTF – インターネットガバナンスタスクフォースの設立

<http://www.igtff.jp/>



8

## インターネットガバナンス タスクフォース(IGTF)

- <http://www.igtj.jp/>
- 安心・信頼できるネットの運用・利用体制の確立
- 民間主導の体制の維持発展
- 国際協調
- 政府、利用者/市民と協力
- WSI S/WGIGに積極関与
  - 情報収集、動向の分析
  - 日本からの意見書を作成、まとめ
  - WGIGに提言、意見交換
  - 内外への情報発信・報告



## 最近の慌しい動き

## WGIG Open Consultation Meeting

- 9月下旬ジュネーブで開催
  - WGIGの活動方針の大枠合意
  - 各国政府のポジションの表明
  - IGTFからも意見書を提出
    - <http://igtf.jp/000039.html>



11

## Zhao Paper

- Mr. Zhao: ITU TSB事務総長
- <http://www.itu.int/I-TU-T/tsb-director/itut-wsis/files/zhao-netgov01.doc>
- インガバに関するITU及び政府の関与の必要性を主張するメモ
- 特にIPv6アドレスに関して国別管理の平行運用を主張
  - NRO(Number Resource Organization)から反論
    - <http://www.nro.net/documents/nro17.html>
  - Zhao氏からのレスポンスも掲載される
    - <http://www.nro.net/documents/statements/itu-response.html>
    - それに対するコメント <http://www.nro.net/documents/statements/nro-clarification.html>



12

# WGIG メンバー決定と第1回会合開催

- メンバー決定: 2004年11月12日
  - <http://www.wgig.org/members.html>
  - 広く各国から、政府関係, 民間, ICANN理事, At Large委員, NROからも一名
  - 日本からは総務省坂巻データ通信課長
- 第1回会合
  - 2004年11月23日—25日
    - 内容。。。?



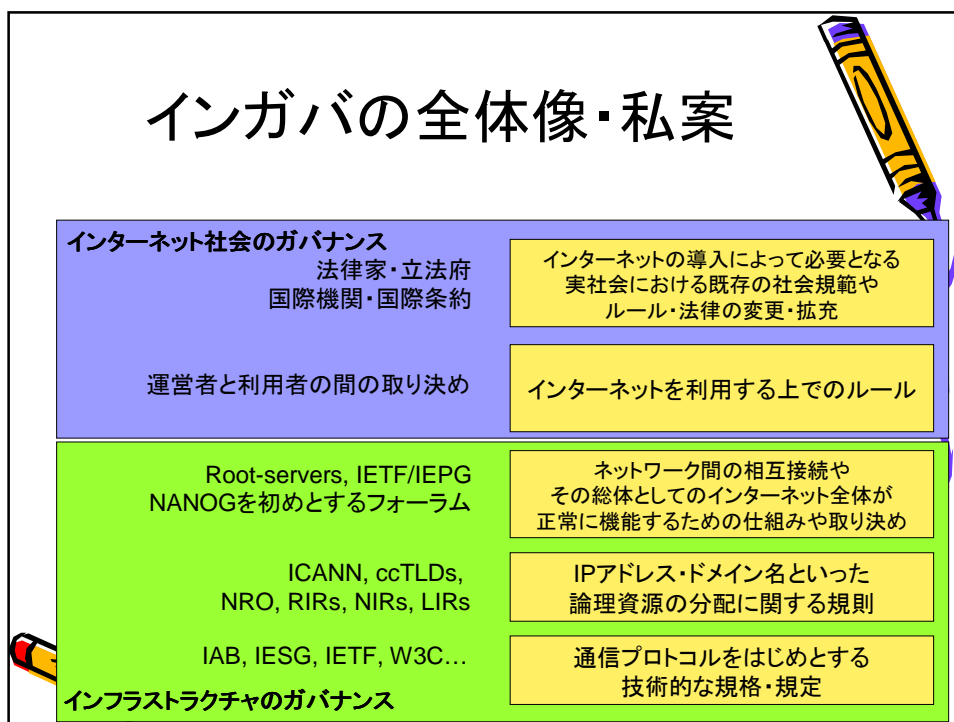
13

曲がり角に差し掛かっている  
インターネットガバナンス



14

## インガバの全体像・私案



## 今後の課題(1)

- 「作る」人, 「動かす」人だけのインターネットから、「みんなが使う」社会資本としてのインターネットへ
  - インフラのアーキテクチャ改善
    - インターネットのアーキテクチャは未成熟
      - エンドシステムやユーザの善意が全てを解決するのか
    - DoSアタック, SPAMの防止策はアーキテクチャで対処すべきことが多い



## 今後の課題(2)

- 「作る」人, 「動かす」人だけのインターネットから、「みんなが使う」社会資本としてのインターネットへ
  - 一般社会からも認められるガバナンス機構
    - 「インターネットだから」という言い訳は今後通用しない
    - 法律や社会規範と整合することが必要
    - 特にWSIS的な文脈では、民間が主導すること
    - 説明責任を果たすこと==仲間内だけでなくみんなに分かるように説明すること



17

ありがとうございました

インターネットガバナンス

IP Meeting 2004

前村 昌紀

maem@maem.org



18